

「モチモチの木」定期テスト対策練習問題②

年	組	番	名前
---	---	---	----

だい4のばめん「豆太は見た」のぶぶんをよんで、もんだいにこたえましょう。

問1 なぜ豆太は真夜中に目をさましたのですか。「～から」とつづくように、お話の中からぬき出して16字でこたえましょう。

問2 「頭の上でくまのうなり声が聞こえた」とありますが、くまのうなり声は、「だれ」が「どうしていた」声でしたか。お話の中のことばをつかって、10字でこたえましょう。



問3 「ま、豆太、しんぺえすんな。…はらがいてえだけだ。」
とありますが、ここからよみとれる じさまの気持ちとして
ただしいものをつぎの中からえらび○でかこみましょう。

- ア：豆太にたすけてほしい
- イ：豆太をしんぱいさせたくない
- ウ：一人にしてほしい
- エ：豆太にしずかにしてほしい

問4 「こわくて、びっくらしして」とありますが、それは じさま
の どんなようすを見たからですか。「～ようす」とつづく
ように、お話の中からぬき出して17字でこたえましょう。

問5 「くまみたいに体を丸めて」とありますが、じさまは どう
して体を丸めていたのですか。お話のないようから かんがえてこ
たえましょう。



問6 「歯を食いしばって」とありますが、ここから じさまの
どんな気もちが わかりますか。つぎの中からただしいものを
えらび○でかこみましょう。

ア：はずかしいきもち

イ：くやしいきもち

ウ：くるしいきもち

エ：かなしいきもち

問7 「ねまきのまんま。はだして。」とありますが、このときの
豆太のようすとして だけしいものをつぎの中からえらびま
しょう。

ア：めんどくさがっている

イ：うっかりしている

ウ：ひっしになっている

エ：おこっている

問8 「雪みたいだった」とありますが、なにが雪みたいだったの
ですか。お話の中からぬき出して9字でこたえましょう。



問9 「豆太はなきなき走った」とありますが、なぜですか。
お話の中からぬき出して16字でこたえましょう。

問10 なぜ「いたくて」だったのですか。「～から」とつづく
ように、お話の中からぬき出して10字でこたえましょう。

問11 「なきなきふもとの医者様へ走った」豆太の気持ちとし
て、いちばんただしものをつぎの中からえらび○でかこみ
ましょう。

ア：じさまに 死んでほしくない

イ：こわくて にげだしたい

ウ：医者様にあいたい

エ：じさまが こわい



問12 「豆太からわけを聞くと」とありますが、豆太はどんなことを医者様につたえたのですか。つぎの中からただしいものをえらび○でかこみましょう。

ア：じさまが びょうきなこと

イ：足から血がでたこと

ウ：外はすごい星で、月も出ていたこと

エ：山の神様のお祭りのこと

問13 医者様は、ねんねこばんてんになにをおぶいましたか。2つ答えましょう。

問14 「えっちら、おっちら」とありますが、ここから医者様のどんなようすがわかりますか。つぎの中からただしいものをえらび○でかこみましょう。

ア：たのしいようす

イ：のんびりしたようす

ウ：らくちんなようす

エ：たいへんなようす



問15 「そいつをねんねこの中から見た」とありますが、どんなようすを見たのですか。「～ようす」とつづくように、お話の中からぬき出して14字でこたえましょう。

問16 豆太が医者様のこしを足でけとばしたのはなぜですか。次の中からただしいものをえらび○でかこみましょう。

ア：雪がふり始めたことをしらせたいから

イ：ねんねこぼんてんが きゅうくつだったから

ウ：なんだか ふあんだったから

エ：せっちに いきたかったから

問17 豆太が見た「もう一つふしぎなもの」とはなんですか。「～ようす」とつづくように、お話の中からぬき出してこたえましょう。

問18 モチモチの木に灯がついているように見えたのは何のせいですか。お話の中から3つ、それぞれ1字でぬき出して答えましょう。



問19 「勇気のある子ども」とありますが、じさまは豆太のどんなところを勇気があるとおもったのですか。「～こと」とつづくように、お話の中からぬき出して15字でこたえましょう。

問20 じさまは、人間にはなにがあることがたいせつだとおもっていますか。お話の中からぬき出してこたえましょう。



「モチモチの木」 定期テスト対策練習問題②

(解答)

問1 頭の上でくまのうなり声が聞こえた (から)

問2 じさまがうなっていた

問3 イ

【かいせつ】 「しんぺえすんな」 や、「ちょっと、はらがいてえだけ」 など、豆太をしんぱいさせたくないきもちがあらわれているね。

問4 くまみたいに体を丸めてうなっていた (ようす)

問5 (れい) おなかがいたかったから

【かいせつ】 「はらがいてえだけ」と じさまが言っているので、「おなかがいたい」ということが わかるようにこたえよう。りゆうを きかれているので、「～から」という形でこたえるようにしよう。



問6 ウ

【かいせつ】じさまは、おなかがいたくて くるしいのを
がまんしているよ

問7 ウ

【かいせつ】「表戸を体ふっとばして」や、ねまきとはだし
で走りだしたことから、豆太はいそいで医者様をよばなくて
はと ひっしになっていることが わかるね。

問8 一面の真っ白いしも

問9 いたくて、寒くて、こわかったから

問10 しもが足にかみついた（から）

問11 ア

【かいせつ】「こわい」という気もちもあるけれど、それ
よりも「じさまの死んじまうほうが、もっとこわかった」
とあるので、「じさまに死んでほしくない」という気もち
がいちばんただしいよ。また、豆太は「にげだしたい」と
はおもっていないね。



問 | 2 ア

問 | 3 ・薬箱
・豆太

問 | 4 エ

【かいせつ】「えっちら、おっちら」ということは、
「つかれたり、おもいものをかついだりして、たどたどしく
くるしそうに歩くようす」をあらわしているよ。

問 | 5 月が出てるのに雪がふり始めた（ようす）

問 | 6 ウ

【かいせつ】「じさまが、なんだか、死んじまいそうな
気がした」豆太は、ふあんになって、足でけとばしたん
だね。

問 | 7 モチモチの木に灯がついている（ようす）



問 18 ・月
・星
・雪

問 19 一人で夜道を医者様よびに行ける（こと）

問 20 やさしさ

【かいせつ】「人間、やさしささえあれば、やらなきゃならねえことは、きっとやるもんだ。」という じさまのことばかり わかるね。

